

ふれあい掲示板

支店や産直市を拠点とした ふれあい活動

JA広島市では、地域の小学校や公民館などと協力して、子どもたちが体験しながら食と農を学ぶ「食農教育」の取組みを各支店で行っています。

三田支店

小学生が稲刈り・脱穀体験

「機械化が進む今、手作業で農作物の収穫を行うことで農業や食を身近に感じてもらいたい」と、JA広島市の己斐潔理事の圃場で、9月12日に安佐北区の三田小学校の5年生22名が、鎌を使っての稲刈りに挑戦しました。千歯扱きでの脱穀体験も行い、手作業の大変さと自然と向き合う面白さを感じることができました。



昔ながらのはぜ干しや
脱穀も体験



古江支店

古江いちじくでジャムづくり

「総合学習」の授業で「古江いちじく」について学んでいる西区の古田小学校の5年生120名が、9月27日、ジャムづくりを行い、小田祐司営農指導員が糖度計を使って糖度の説明を行いました。また、イチジク生産者の土井和平さんも参加し、小学生との交流を楽しみました。

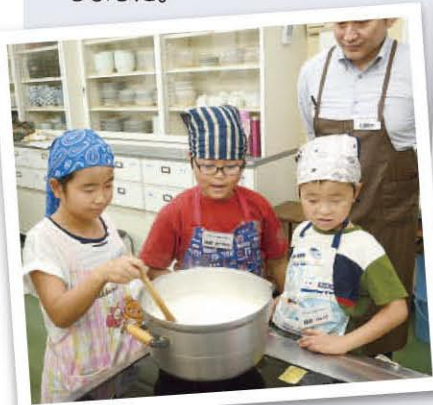


地元の特産品
「古江いちじく」について
学んで調理

東雲支店

公民館と協力して豆腐づくり

9月29日、南区の大河公民館と東雲支店が共催して、豆腐づくり教室を初めて開催。地域ふれあい課の加藤尚子課長代理が講師となって、午前午後合わせて23組52名の親子が、北広島町豊平地区産の大豆を使った豆腐づくりに挑戦しました。



おからを使った
おやきにも挑戦

「ひろしま神楽の日」イベントで管内産農産物をPR



雨の中
たくさんの方が
ご来場に



舞台上で広島菜漬や
管内産の農産物をPR

長束支店

9月29日、広島駅南口エールエール地下広場で開催された神楽イベントに長束支店が出店。広島の特産品を販売するコーナーで広島菜漬や広島産の野菜などをPR販売しました。